

あなたならどう答える?(実際のご相談です)

「山を相続したら共同墓地まで付いてきた! どうしたらいいですか?」

第17回

全国お墓なんでも相談室開催報告

後援:経済産業省/産経新聞社/(一財)日本消費者協会

今年度は5支部7会場のエントリーです。すでに開催した支部から活気のある報告をいただきました。前回の全国支部長連絡会議でも、開催方法や事例をお伝えしましたが、来年度に向け開催を検討している支部は、事務局までお問い合わせください。

愛媛県支部

2024年9月1日 西条図書館北側緑地 [うちぬきフェスティバル会場] / 2024年9月28日 今治市市民活動センター
2024年11月3日 松山ローブウェイ商店街 [第24回 城山門前まつり]

愛媛県支部では、毎年西条市、松山市の2会場で「全国お墓なんでも相談室」を開催してきました。昨年より、今治市の会場を新たに加え、開催会場を増やすことで、地域が抱える問題をより深く知ることができるようになりました。既に開催が終了している西条市では4名、今治市では3組4名の相談がありました。まだ20代と大変お若いのですが、お墓の継承について知識が無いため、家族間でお墓の話になったとき、結論がお墓じまいに繋がってしまったという相談が印象に残りました。お墓の継承にも色々な形があるので、短絡的にお墓じまいする必要はないと具体的な方法を交えて伝えると、驚いた様子で、「家族に伝えてみます。」と笑顔で帰られました。このように、一人、一家族からでもお墓に対する考えを変えることができるのが「全国お墓なんでも相談室」であると感じています。今後も継続して開催することで、1人でも多くの人に お墓について今一度考える機会を作っていきたいです。[愛媛県支部長 眞鍋朋治]



岡山県支部

2024年9月6日~7日 岡山駅東口地下通路広場

岡山県支部では「全国お墓なんでも相談室」が始まった時から継続して行っています。開催時期もお盆とお彼岸の間を狙い、同じ時期に開催することで、定点観測や、PRにもつなげることが狙いです。プレスリリースを欠かさず、集客に確実につなげています。地元TV局2社、新聞も広告記事以外に新聞記事も掲載してもらいました。初日は通りすぎると、新聞広告・新聞記事を見た方が大半で、19件の相談がありました。今回の相談は50代~60代が多く、そろそろお墓のことを何とかしなければならないという年代層が、動き出しているように感じました。今後も支部活動と石産協のPRのために継続していきます。[岡山県支部長 福川修介]



埼玉県支部

2024年10月26日~27日 埼玉県立航空記念公園 [第45回 所沢市民フェスティバル]

来場者数:約27万人、出展数:419団体、県内一を誇る祭りに出展しました。今回はスペースを昨年の倍にし、多くの方々を通る面に変更。事前PR告知はせず、ポスタースタンドにて「お墓なんでも相談室」テント周囲に「お墓じまい」「お墓の引越し」を掲示。今までは待ちの姿勢でしたが、今年は、相談員が自らインタビュー式の「お墓タイムズ」で呼びかけを積極的に展開し、参加賞は石チョコ・全問正解者は天然石をプレゼントしました。結果、過去最高の相談数34件となり、大盛況でした。相談内容で最も多かったのは、改葬お墓じまい20件。続いてお墓の承継5件・お墓の価格3件・彫刻直し1件・お墓の経営破綻1件です。お墓の問題を抱えている方はまだまだ多くいると感じ、次回以降も目につく場所で、目につくタイトルでPR活動をしていきます。[埼玉県支部長 篠田雅典]



◎開催予定:2024年11月予定 神奈川県支部 / 2025月3日8日 北海道支部 札幌駅前通地下広場 地下歩行空間(チ・カ・ホ)



社内のみなさまで
回覧して
ください

2024年
11月15日発行
(隔月15日発行)



了解です。
石産協ならではの
LINEスタンプ
合計40種



石産協通信は
Webでも
閲覧できます。



石産協HP



石産協が運営する 一般消費者向けサイト「お墓の窓口」リニューアル予定

「消費者の駆込み寺になる」という目的に基づき、「お墓」に関する疑問や質問、悩みに応えるためのものです。今まで蓄積したQ&Aデータベースを元に検索を可能とし、サイトを訪れた消費者の様々な悩みに早く答え、信頼されるホームページを目指します。また、新たに石産協会員の加盟店検索を設置します。掲載に関しては各社へ確認ファックスを配信しておりますので、ご提出ください。

来年の総会は6月20日(金)札幌で!

[第16回 定時総会テーマ]

「Stones be ambitious ~エゾは【なまらえぞう】~」

開催日: 2025年6月20日(金)

開催場所: ホテルモントレエーデルホフ札幌

住所: 北海道札幌市中央区北2条西1丁目1

※前日は「全国支部長連絡会議」が開催されます。

[スケジュール]

受付/11:30~

エクスカーション(予定)/12:30~15:00

・真駒内滝野霊園見学ツアー

・札幌軟石採石場見学ツアー

・分科会(会場にて講演会等)

定時総会/15:30~17:30

祝賀会(懇親会)/18:30~20:30

交通機関・ホテル等の予約はお早めに!!

初の北海道開催で、支部では北海道の開拓者クラーク博士に因んで、「stones be ambitious! 石材人よ大志を抱け」~エゾは【なまらえぞう】というテーマを掲げ、企画会議を重ねています。「イランカラプテ」は、北海道の先住民族アイヌのあいさつで、アイヌ語で「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」と同じように使われています。「北海道のおもてなし」のキーワードとしてキャンペーンになったこともありました。そのおもてなしの気持ちを持って、みなさまをお迎えしたいと思っています。海の幸、山の幸が美味しいハイシーズンの季節、6月の素晴らしい北海道を楽しみにしててください。多くの方のご参加をお待ちしています! [実行委員長・北海道地区長 榎田秀一]



真駒内滝野霊園



札幌軟石採石場跡地



第2回 全国支部長連絡会議

2024年10月18日(金) ワイム神田貸会議室Room8A(東京都) 参加者:44名

支部長
サイコー!!

今回は、前回終了後のアンケート結果をもとに支部長の知りたいことを3つのテーマで構成しました。

①災害協定締結について ②支部の事例紹介 ③会員増強と今後のやりたいこと

支部長を中心に理事も参加することで、相互に役割を認識し、交流を深めることができました。テーマに沿って、経験のあるリーダーを指名し、進行してもらいました。また、テーマごとに席替えをすることで、初対面でもコミュニケーションが持て、グループディスカッションでは活発な意見交換がなされ、大変な盛り上がりでした。次回も楽しみです。[会員拡大委員長 竹内哲也]

◎次回開催:2025年2月14日(金)東京・新木場 ◎2025年6月19日(木)北海道・札幌市(定時総会前日)



奈良県支部の活動

なら燈花会に出展

2024年8月5日(月)~8月14日(水) 奈良公園

なら燈花会は1999年に誕生し、夏の10日間だけ広大な奈良の緑と歴史の中に灯りの花を咲かせます。毎年奈良公園一帯で開催されるこのイベントに今年も奈良県支部で出展しました。支部会員がそれぞれの「石あかり」を制作し、他県からの協力者による作品を合わせ、29点を展示しました。のべ90万人以上の来場者・観光客に石の良さ、面白さ、風情を楽しんでもらい、石文化の向上のアピールに努めました。来年も出展しようと思っていますので、ぜひ一度見に来てください! [奈良県支部長 黒 浩嘉]



作品はYoutubeでご覧いただけます

会員さんに聞きました!
今年の「秋分の日はお墓参りポスター(GAL編)はいかがでしたか?



- ▶いざお寺に持って行ったら意外と貼ってくれた。本山でも受け取ってもらえ、さらにスナック等お店でも。自分の頭が硬くなってきているのかも思った。老け込まないように良い刺激を期待してますよ。
- ▶毎年お寺に貼ることを目的としていたのでこのデザインでは貼れない。せめてお寺用と若者用と2種類作成すべき。
- ▶取引先の15ヶ寺ほどお配りしましたが、反応は概ね上々でした! なかなかファンキーだね!とウケました! SNSを活用することを考えても目に止まるインパクトは非常に使いやすく良かったと思います!
- ▶趣旨を説明したら納得して、かえって感心されました。若い層にお墓参り=お寺に来てもらうことは、お寺も悩んでいる関心大との事です。
- ▶コンセプトを詳しく説明してほしかったが、聞いても理解に苦しむ。そして配布する人の気持ちも考慮して欲しい。
- ▶若者向けなので先に行き過ぎていて飾りづらかった。お仏壇・お寺にもお願いしづらかった。[メディア対策委員会]

委員会の活動

委員会は、石材業界の発展のため、知識向上や資格運営、協会PRのための活動を行っています。2024年度の委員長と活動をご紹介します。少数精鋭の運営のため、あなたの参加をお待ちしています！

①ご年齢 ②ご自身の名前の由来 ③委員会の活動内容(活動予定) ④森田会長の所信にある「業界を元気にする」を実現するため、委員会としての意気込みを一言

会員拡大委員会 委員長

竹内哲也

たけうちてつや



① 43歳

② 母は武田鉄矢の「鉄矢」にしたかったらしいが、申請の際、祖父が勝手に「哲也」に変えたらしい。結果良かったが、理由は不明。

③ 会員拡大のために魅力ある協会を目指すひとつとして、全国支部長連絡会議を年3回開催して支部長同士の横のつながりの強化を実践しています。他支部が何をしているか？課題は何？それうちの支部でもできそう！など、壁打ちが出来るところを作り、支部活性化を目指します。

④ 情報が大事だと考えます。「ここでしか聞けない」「手に入らない情報」をこの石産協から全国支部長連絡会議から会員へ発信して、まずは会員みなさまが元気になる、業界の元気力底上げをしていきたい。

お墓未来プロジェクト 委員長

能島孝志

のじまたかし



① 69歳

② 父親の名前から「孝」の一文字を取って付けたようです。

③ 石のお墓を売るためのノウハウを委員会メンバーで共有することが目的。12/11(水)東京開催予定の第4回「お墓未来プロジェクト」参加者募集中！

④ 「業界を元気にする」ためには、石のお墓を販売することが不可欠。「墓じまい」では業界は元気になりません。とにかく「石のお墓」を売ることです。

顧客満足推進委員会 委員長

大北和彦

おおきたかずひこ



① 58歳

② 教えてもらっていないので、私の勝手な想像ですが、「和を以て貴しとなす」いさかきを好まない日本人らしい名前だと思っています。

③ 消費者を第一に考えた事業を目指し、「墓石工事契約等ガイドライン」を推進しております。

④ 墓石部会900社の半分は「ガイドライン登録事業者」になるよう、推進していきます。まだ未登録の方、是非とも登録をお願いします。

災害対策特別委員会 委員長

齋藤繁樹

さいとうしげき



① 76歳

② 父親からは何も聞いていない。現在102歳の母親は父が名付けたと話す。大変良い名前を付けてもらったと思います。努力します。

③ 全国の各支部で災害協定締結の必要性を理解していただき、締結に向けた動きが始まり、達成出来る様に行動したい。今は能登半島支援に全力である。また各支部に自然災害伝承碑の捜索のお願いも行う。

④ 人にとってなくてはならないお墓、文化的にも大切な石の建造物、過去に起きた自然災害の記録を刻した碑などを守り伝えていかなければならない使命を感じます。

メディア対策委員会 委員長

鳴本太郎

なるもとたろう



① 45歳

② 長男=太郎ww

③ 協会の認知度向上に向けたSNS戦略や消費者に近づくためのブランディング戦略の検討

④ まずは元気で楽しい委員会運営をし、協会を元気にし、業界を元気にします！

お墓ディレクター委員会 委員長

原 真

はらまこと



① 41歳

② 裏表のない真っ直ぐな子に育ってほしい。

③ お墓ディレクター検定試験の運営、お墓ゼミの支援、研修会の開催

④ お墓ディレクターという資格の認知度向上のため、積極的に情報発信していきます。

石産協HPリニューアル

石産協ホームページがリニューアルしました。支部、部会、委員会の活発な活動報告を更新しています。そして多くのお声をいただき、オンラインストアも設置されました。1社につき1アカウントでご利用いただけます。詳細はメールで配信済。

- メリット①
会員価格、会員限定商品が
クレジットカード決済可能
- メリット②
インボイス請求書、領収書の発行が可能

*メールアドレスの登録のない方は利用不可。
この機会にご登録ください。

新入会員紹介

会員数:1,092名(2024.10.17現在)

地元やお取引先の石材店をご紹介します。全国組織のネットワークを通じ、石材業界を盛り上げていきましょう。

東京都

㈲小泉石材店

会員代表:小泉 勉

業種:墓石

長野県

㈱山口石材

会員代表:山口隆徳

業種:加工、墓石、建築

岡山県

㈱山中石材

会員代表:佐藤和子

業種:墓石

ABD読書会ってなに???

OHAKA DIRECTOR



聞きなれないワードかもしれませんが、ABDとは、アクティブ・ブック・ダイアログ®の略です。一冊の本を参加者が分担して読んで、まとめ、各自が発表し共有化することによってその内容に対する“気づき”を深め、対話するという手法での読書会です。お墓ディレクター委員会主催でこれまで二年間、実施しました。題材は小島宏允先生著の「お墓入門」です。わたし自身、この業界に入りましたのは、お墓ディレクター2級取得後、1級の資格を得たことによるのが契機と

なったと思います。お墓ディレクター検定は「お墓の教科書」が基本ですが、その後の資格の活用という同じ知識を持つ人たちがお互い学びあうことは重要であると考えますし、参加された方々の次へのステップアップにつながると思います。現代の多様な顧客に対応されている人々とのタイムリーな情報交換は、今後の営業活動に必ずやお役に立てるものと確信しております。今後も引き続きこの読書会を開催してまいりますので、たくさんの方々のご参加をお待ちしています。(会員・非会員問わず、参加費無料!!)

[お墓ディレクター委員会 本村秀昭]



日中墓石交流会

2024年8月28日(水)
新橋にこにご貸し会議室(東京都)

参加者 | 交流会:日本側24名/中国側23名 計47名
懇親会:日本側20名/中国側23名 計43名

日中双方の業界の現状を情報共有し、次年度の各社の経営計画に生かしていただくことを目的に開催しました。コロナ禍を経て5年ぶりの開催で、とても和やかな会となりました。来年は中国開催の話も出ています。引き続き中国サイドと交流を深めてまいります。[輸入卸商部会長 吉川信貴]



石材業5団体協働 能登地震復旧支援活動

第4回 2024年9月25日(水)~27日(金)
4ヶ寺(23名参加)
第5回 2024年10月22日(火)
2ヶ寺(19名参加)

支援活動前には要請のある寺院に出向き、墓地の様子を調査し、作業量を見極めた上で、石材業社の日程をマッチングしています。5回目も用意周到に進めていたのです



が、予定日の4日前、能登地方に豪雨水害が発生し、計画を練り直しました。能登地方の方々には気の毒でしかない災害の連続ですが、我々の活動が少しでもお役に立てたらという思いで活動しています。これから冬支度となり、5回目をもって、能登復旧支援活動は一旦休止となります。日本全国の災害に備え、今後も支援活動の事前登録を募集します。ご理解、ご協力よろしくお願いいたします。
[災害対策委員長 齋藤繁樹]



お墓未来プロジェクト

2024年10月3日(木) 名古屋市で開催

- 【第1部】石材店の悩みNo.1とも言える、お墓が売れない時代の集客方法とは?
講師:能島孝志(お墓未来プロジェクト委員長)/
(株)第一石材 代表取締役
- 【第2部】地域密着型石材店の未来戦略!
「地元で必要とされる会社となる」
講師:佐野雅基(委員会担当副会長)/
(有)佐野石材 代表取締役社長

〈参加者の声〉

宮城県・佐藤 準さん

Q1. 何回目の参加ですか
3回目

Q2. 全体的に特によかった点は

集客方法に必要なこと、地元で必要とされる石材店になるための様々な活動をお聞きでき、とても参考になりました。また、お二人の講師共に共通していた、変化を恐れず、一歩踏み出す!とにかく動き、実行する!という行動する大切さが心に響きました。

Q3. 実践できると思ったことは

すぐにも実践できると思ったのは、能島先生のホームページ、SNSを活用した効果的な集客方法。

Q4. 実践しようと思ったことは

まずはすぐにはできることから始める。他社との差別化を見つけ、お客様が求めていることを、分かりやすくホームページやSNSで発信できればと思います。

熊本県・荒木正人さん

Q1. 何回目の参加ですか
3回目

Q2. 全体的に特によかった点は

具体的な実践事例でかなり参考になりました。こうなりたいからこれをする!これをするとうなる!的な話が分かりやすかったです。

Q3. 実践できると思ったことは

能島先生のHPの見直し作業(見やすくするために)。佐野先生の地元で必要とされるために石材店だから出来ることを検討中です。

Q4. 実践しようと思ったことは

・佐野先生の「市民講座」を開催することにしました
・能島先生の「HP見直し」から、アンケートを集計し、お客さまからの具体的な評価を出すように新しいページを準備しています。

▶次回は12月11日東京・神田です。

まだメンバー登録されていない方はこちらから

*登録されている方にご開催案内が届きます。



事業案内

2024年11月~
2025年1月

ホームページにカレンダーが掲載されています。日程の変更は随時お知らせします。

- ▶ 11月6日(水)・秋田県秋田市
東北地区全体会議 in 秋田
- ▶ 11月12日(火)・Zoom
災害対策特別委員会
- ▶ 11月13日(水)・東京(池袋)
関連部会
- ▶ 11月15日(金)・愛知県岡崎市
建築・環境部会
- ▶ 11月19日(火)・2級オンライン開催
1級全国7会場
第20回 お墓ディレクター検定試験
- ▶ 11月20日(木)・東京(神田)
第5回正副会長会議
- ▶ 11月21日(金)・福島県採石場見学付き
採石・原石部会
- ▶ 11月27日(水)・島根県松江市
中国・四国地区全体会議 in 島根
- ▶ 12月11日(水)・東京(神田)
お墓未来プロジェクト
- ▶ 12月12日(木)・東京(神田)
第4回理事会
- ▶ 12月13日(金)・東京(神田)
輸入卸商部会

第16回 石材加工講習会 in 茨城

2024年11月3日(日)
茨城県笠間市大池公園

10月5日にブルガリア共和国から来日したイヴァン・ストヤノフさん。約1か月滞り、平和のモニュメントを制作していただきました。そして、いばらきストーンフェスティバル会場にて加工部会が主催した石材加工講習会でモニュメントを発表し、参加者と交流しました。その様子は次号でお伝えします。
[加工部会長 北島敏行]



石を愛するコミュニティ

一般社団法人
日本石材産業協会
The Japan Stone Industry Association

東京都千代田区神田多町2-9 日計ビル2階
Tel: 03-3251-7671 Fax: 03-3251-7681
https://www.japan-stone.org/
企画・編集・発行:メディア対策委員会

表紙の写真 事務局のお蔭元・神田はカレーだけじゃないんです。今回はほんかつ「やまいち」。高評価点の人気店。ロス派もヒル派もかつ丼派もぜひ一度。追加で海老フライも1本から可。

